

一 退去命令後本邦人依然在嶋ノ理由

本邦人曰ク昨年高雄書記生末嶋我等ニ  
退去ヲ命セラレタレ此徒素ノ行域上取引其他ノ  
都合モアレバモレヲ完結シ歸ラント思ヒ居ル際前  
述田士能ナル者田辰高工部ヨリ槻木八十株伐  
採許可ノ公文ニ基キ斐島監ノ許ヲ得テ伐  
木ヲ始メシテユルコト起リ槻木伐採並ニ其叢材ハ  
日本人ニ非サレハ未サレ付當分留嶋シ吳ト  
ニ斐島監ノ依頼アリタルヲ以テ木挽及其附属  
負ハ勿論其他本邦人モ留ムルコトナレリト斐  
島監ハ曰ク日本人ニ在留ヲ頼ミタルコトナレバ田  
士能ハ日本人ニ依頼シ伐木叢材ノモ差支ナレト  
述ハタルノコト 積極ト消極ト語ノ相違ハアレトモ

斐島監カ此槻木八十株或木教材ニ付キ日  
本人在留ヲ承認シタルハ故ク可ラサル事實ナ  
リト思ハル

尚斐島監丙申五月赴任ノ際在嶋本邦人ニ對シ  
當地ハ不潔港場ナルヲ以テ罰金ヲ出ス可シト  
命ジ日本人ヨリ十元三十元五十元各一三百元三ノ  
四罰金納付証ヲ取リ本邦人ニ退去ヲ命セ  
サルノシテ又物貨ヲ輸セテ許シ之ニ對シ百分二  
ノ稅ヲ徵シ高雄書記生退去ノ命ヲ下シ先  
後ト呂氏今日迄引統キ徵稅シ居ル者見  
（之ハ斐島監ノ自白也）斐島監ハ明カニ今日  
迄本邦人不在嶋ヲ承認シタル者也

二筆折入

一日本人侵虐居民兵器使用暴行云々ノ件

之レヲ日本人ニ質スニ決シテ居民ヲ侵害シタルコ  
トナク況ンヤ兵器ヲ使用シテ暴行ヲナシタル杯  
ノコトハ毛頭ナシト述べ之レヲ島監裴季岡ニ質  
スニ暴行シタルコトアリトテ暴行事実ヲ書列  
タル書類ヲ提出ス然レモ双方確証ナク何レニ  
據ルベキヤ判断ノ材料ナシ乍併本官巡回ニテ  
視ル処ニ依レハ在島日本人ト島民トノ間ハ感情  
至テ宜シキヲ以テ島民侵虐ノ事實ハ捏造ナラ

シカ

尤モ死鯨漂着ノ際日本人、截解者ト韓人ノ  
截解者トノ間ニ鯨肉分配ノ事ニ付截解ノ  
際ニ爭ヲ生シ喧嘩ヲ為シタルコトアリテ其時日本

人中西某カ韓人ヨリ鯨肉截解刀ヲ取去ラレタル  
コトアリ

現ニ具刀ハ我島監ノ家ニアルヲ見タリ島監ハ之レ  
ヲ以テ日本人暴行ノ証據トナシ居リタルモ此刀  
ト暴行トノ關係ヲ証明スル材料ナシ故ニ此刀ハ  
暴行証明ノカキトテ之レヲ否認シ蓋キタリ禹  
用鼎ハ此刀ヲ以テ暴行ヲ推測スルニ足ルト云ヒ  
居リ名匠之レモタ彼ノ信スルニ止マリ取ルニ足ラズ  
若シ此報告ヲ禹ヨリ為サバ宜シク否認シテ可ナ  
ル可シ

又吳島監ノ時代(昨年)吳カ日本人中村正録  
者ヲ打擲シタルヲ以テ在島日本人二十名計夜間  
吳ノ家ニ至リ其不都合ヲ詰問シタルコトアル由ナ

レ此別ニ暴行ヲ為シタルコトナシ作去吳ニ対シテ損  
害賠償ヲ為セト迫マリタルコトアリテ吳ハ其要求ニ  
應ジテ親木四株ヲ典ハタリト云フ之レハ多ク暴行  
類似ノコトナルカ我島監ヨリ其証人トシテ韓人ニ  
十余名ヲ出シタルモ一人モ現場ヲ目撃シタル者ナク  
其多他ヨリ証ヲ聞キタリト漢然タルコトナリレヲ以テ  
之レヲ認めズト云ヒ置ナリ其他別ニ暴行類似ノ  
形跡ナシ然レモ想像スルニ(別ニ確証アルニ非ズ)櫛齒  
島々監ハ微カニシテ日本人ヲ制スルコト能ハス却  
テ日本人ノ方優勢ナルヲ以テ多數島民トノ間ニ感  
情宜キニ拘ハラス島監及其一味ノ少數島民ニ暴  
行類似ノコトハ多クアリタルナリ

Blank lined area for writing on the right page.

一日本人扼守名津口云ルノ件

日本人ノ若ニ島監及ノ民ヨリ曾テ乗船ノ相談  
ヲ受ケタルコトナシ又島監ノ上京ノ事ヲ聞キタルコト  
ナシ長テ扼守名津口云々ノ事定ナシ島監ノ若ニ日  
本人ノ船ニ非サレハ渡航スルハ能ハカレト舟便乗ヲ  
乞ヘシコ之ヲ拒メシタリト之レコ舟証人アリト云フト重尾  
之レヲ出サス又島監カ税関長及金封舟ニ宛テタル  
書面ヲ卷山人ナル通弁ニ授ケタルコト日本人之レヲ奪  
ヒテ破棄シタリ島民轉職者認テ内告シタリト  
云フト重尾其非ニ據テ其者ヲ出サス確実ナル証  
據ナシ何レカ眞偽ヲ判スル能ハス

三字訂正  
三字訂正